

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 丸岡美穂

1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受けて、平成29年2月25日から3月24日の4週間、オーストラリアのパースを訪問しましたので報告します。滞在期間中は語学学校に通いながらホームステイを通して、異文化を体験することができました。

2. 語学学校

私は今回の語学留学で西オーストラリア最大の都市であるパースの郊外に位置する Phoenix Academy という語学学校に通いました。

初日に行われる筆記テストと、校長先生と一対一で行われるスピーキングテストによって、それぞれのレベルに合わせたクラスに振り分けられます。私のクラスには日本、韓国、中国、台湾、タイ、ブラジル、フランス、イタリア、スロバキアなど、様々な国出身の10代～50代の幅広い年齢の生徒がおり、毎週月曜日に新しい生徒を迎えます。また、長期滞在の生徒は6週間に一度行われる大規模なクラス替えに向けて日々勉強に励んでいます。

授業は平日毎日、8時45分から13時45分までで、火曜日と木曜日の放課後は文法とスピーキングの授業を選択して受けることができます。午前は文法、午後はスピーキングを中心に学びます。午前の授業は3～5人のグループで着席し、教科書やプリントの問題を解くことが多かったのですが、答え合わせをする前にグループ内で何故その答えに至ったかなどについて、意見を交わしました。解答が発表された後もグループ内で理解できない生徒がいた場合、お互い説明しあいました。午後は午前の授業とは異なるメンバーでグループを作って、他には決められたお題について話したり、ゲームをしたりしました。

午前、午後の授業を通して自分の意見を話す機会が多く、少しずつではありますが自分の意見を伝えられるようになりました。グループでディスカッションをしているときに、国が違っていると意見や考え方が全く異なることが多くありましたが、アジア出身の人と考え方が似ていることも発見することができました。



[クラスメイト]



[ビーチに行きました]

3. ホームステイ

私の滞在したホームステイ先にはベトナム人のホストマザーとイギリス人のホストファミリーがおり、私の滞在2週間目に新たにタイ人の女性が1人やってきました。また、ホストファミリーの家には犬が4匹、たくさんの鳥や鯉などの魚といった多くの動物がいました。私は動物が好きなので、ホストファミリーやタイ人の女性とで仲良くなるきっかけになりました。ホストファミリーは私が滞在する前にも多くの留学生を受け入れていたようで、滞在する留学生が何に困るかよく理解しており、滞在初日にはホストファミリーが近くのスーパーマーケットや学校への行き方、バスの乗り方について教えてくれるなど私が生活しやすいようサポートしてくれました。

ホストファミリーは朝早くに仕事へ出かけるので朝食と昼食は自分で用意し、夕食はみんなで食べました。この留学では、ルームメイトであるタイ人の女性と過ごす時間が一番長かったです。朝食や通学の間たくさん会話しました。また、夕食後にはみんなでいろいろな話をしました。



[ホストファミリーとの写真]

4. おわりに

私の今回の留学の目的は語学力の向上と異文化を体験することでした。ホストファミリーが移民であったためオーストラリアの文化だけでなく、他の国の文化も体験することができました。

1ヶ月間という短い期間での留学で語学力を向上させるために大切なことは、英語をたくさん話すことだと考え、学校でもホストファミリーの家でもたくさん会話することを心がけました。初めは私の発音が悪くうまく伝わらないこともあり、もどかしい思いをしました。しかし英語を話すことに慣れてくると楽しく会話ができるようになり、もっと多くの人とコミュニケーションをとりたいという気持ちが大きくなりました。今回の留学ではリスニングが最も伸びたと思います。今回得た英語力を落とさず、さらに英語力を向上させるよう努めたいと考えています。また、留学で出会った人の中には母国語と英語の他に2, 3ヶ国語学んでいる人もいました。このような人たちとの出会いによって、私は英語だけでなく、新たに言語を学びたいと考えるようになりました。

国際交流基金の助成によって、このような貴重な経験をさせて頂くことができました。このような機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。